

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-114680

⑮ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和63年(1988)7月23日

A 63 B 57/00

C-6970-2C

審査請求 有 (全2頁)

⑰ 考案の名称 ゴルフ用ティー

⑱ 実 願 昭62-6871

⑲ 出 願 昭62(1987)1月19日

⑳ 考 案 者 石 井 良 旺 大阪府大阪市生野区中川西1-1-45

㉑ 出 願 人 石 井 良 旺 大阪府大阪市生野区中川西1-1-45

㉒ 代 理 人 弁理士 柳野 隆生 外1名

㉓ 実用新案登録請求の範囲

(1) 下部を下方へ向けて尖形状に成形し、上端部を後述のボール載置部下端部に着脱自在に嵌合しうる形状に形成してなる固定部と、

上端面にボール載置用凹所を設け、内部に上方へ開口する内部空間を設け、前記内部空間の底面から該内部空間よりも小径で下方へ開口する連結孔を設けて底面との間に段部を形成し、下端部を前記固定部材上端部に着脱自在に嵌合しうる形状に形成してなるボール載置部と、

可掘性を有する合成樹脂またはゴムにて作成し、前記ボール載置部と固定部とを嵌合して連結したときのボール載置部の内部空間底面と固定部材上端面間距離より長かつボール載置部の連結孔に遊嵌状態に内装しうる外径とした杆体の上端に前記ボール載置部の内部空間底面の段部に係止しうる形状の頸部を設けてなる連結部材と、

よりなり、連結部材の頸部をボール載置部の内部空間に位置して杆体下端を固定部材上端へ立設状態で固定し、ボール載置部と固定部とを離合自在に嵌合して連結してなるゴルフ用ティ

ー。

(2) 連結部材として合成樹脂またはゴムにて作成した管状の杆体で側面における長さ方向に適数条のスリットを形成し下端面を閉鎖して取付面とし上端開口周縁部に鉗部を設けて頸部となるものを用い、該連結部材の下端を固定部上端面から下方へ穿設した取付孔へ嵌入して連結部材の取付面を固定部の取付孔底面内へネジ止めすることにより取付けてなる実用新案登録請求の範囲第1項記載のゴルフ用ティー。

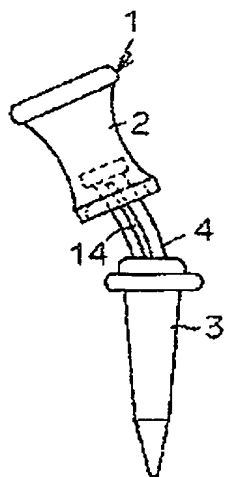
図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るゴルフ用ティーの実施例を示す斜視図、第2図は前記ゴルフ用ティーの正面中央縦断面図、第3図は固定部とボール載置部とが分離した状態を示す説明図である。

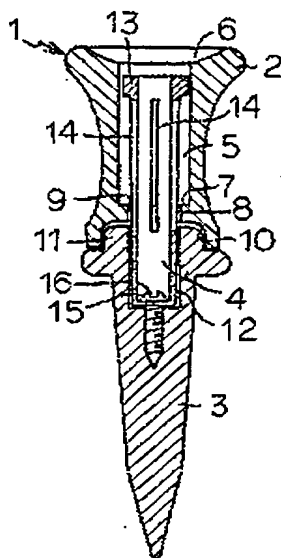
1：ゴルフ用ティー、2：ボール載置部、3：固定部、4：連結部材、5：内部空間、6：凹所、7：底面、8：段部、9：連結孔、10：嵌合凹所、11：嵌合突部、12：取付孔、13：鉗部、14：スリット、15：下端面、16：ネジ。

実開 昭 63-114680(2)

第 3 図



第 2 図



第 1 図

